

親子で読みたい児童文学賞受賞作

こどもの読書週間(4/23-5/12)



〔19年度 椋鳩十児童文学賞〕
「冬の龍」
藤江じゅん/作
GEN/画

神田川の龍は言った。もし、おまえに守りたい人間がいるなら、災いがかからぬように、なんとか雷の玉を探し出すようにと…。歳月の中に失われた幻の玉をめぐって、少年たちの冒険が、いま始まる。
作者は1965年千葉県生まれ。出版社勤務のかたわら子ども向けの作品を書きはじめ、「五本目のろうそく」でグリム童話賞優秀賞を受賞している。(小学生 高学年向)



〔19年度 講談社出版文化賞絵本賞〕
「ルリユールおじさん」
させひこ/作

ソフィーの、大事な植物図鑑がこわれてしまった。町の人から「ルリユール」のところを持っていくといいと聞いたソフィーは、ある路地裏の工房を訪ねる。そこで、本造り職人のおじさんに図鑑を直してもらうことになり…。
作者は1949年生まれ。東京芸術大学を卒業。「マキちゃんのえにつき」で野間児童文芸新人賞、そして「水仙月の四日」で産経出版文化賞美術賞を受賞している。(小学生 中学年向)



〔19年度 小学館児童出版文化賞〕
「ケイゾウさんは四月がきらいてす。」
さくらざき/作
さとつあやえ/画

ケイゾウさんは、幼稚園に住むにわとり。うさぎのみみこがやってきてから、ケイゾウさんの暮らしは、一変して…。けんかばかりのふたりはどうなる？本作品は雑誌「母の友」に掲載された9編に、新たに1編を収録している。
作者の市川さんは1960年神奈川県生まれ。絵本「まりこちゃんのぼうし」や童話「おばけのおーちゃん」などがある。(小学生 低学年向)

5月の催しもの		
とき	催しもの	
4日(日) 11:00～14:00	子どもビデオ劇場	
10日(土) 11:00～	ペーパーカーネーションづくり	
11日(日) 11:00～	ペーパーカーネーションづくり	
25日(日) 11:00～15:00	子ども工作教室	
毎週木曜日 10:00～12:30	あかちゃんクラブ ラッコルーム	
毎週土曜日 14:00～	「おはなし」と「あそび」の広場	

〈不用図書・雑誌の無料配布〉5月22日(木)から、なくなり次第終了。お一人様各5冊まで。

- その他の平成19年度児童文学の受賞作
- 〈野間児童文芸賞〉
 - ◆「しずかな日々」 榎月美智子/著
 - 〈赤い鳥文学賞〉
 - ◆「天狗童子 ～本朝奇談～」 佐藤さとる/著 村上豊/画
 - 〈日本絵本賞大賞〉
 - ◆「よしおくんがぎゆうにゆうをこぼしてしまったおはなし」 及川賢治/作・絵 竹内繭子/作・絵
 - 〈新美南吉児童文学賞〉他
 - ◆「どこかいいところ ～高木あきこ詩集～」 高木あきこ/作 渡辺洋二/絵
 - 〈日本児童文学者協会賞〉
 - ◆「ハーフ」 草野たき/著
 - 〈産経児童出版文化賞〉
 - ◆「牡丹さんの不思議な毎日」 柏葉幸子/作 ささめやゆき/絵

俳句

「卯の花」 ふそう俳句会

卯の花や悲しきときも人群れて
手びねりの壺生まれくる薫風裡
落暉いま伊吹嶺におり暮春かな
市川 信子
岡 和子
伊藤 北宵

川柳

扶桑川柳クラブ

弁当を作れば雨の花見の日
初節句祖父母の多く孫泣かす
逆さまに観てもピカソの絵は凄
林 三郎
土屋 夢子
前本たかし

短歌

「朝あけ」 ふそう短歌会

朝あけの波を蹴立てて帰港せる
漁船鴉の声曳きつれて
語りつつ媼は草を抜きやます
八十路越えしに今も健やか
冬衣いちまい脱ぎし今朝の空
飛び交う鳥声高く澄みたり
和田 悦子
小室 綾子
間宮佐和子

詩吟

「磧中の作」 岑参

馬を走らせて西来天に到らんと欲す
家を辞してより月の兩回円かなるを見る
今夜は知らず何れの処にか宿せん
平沙万里人煙絶ゆ

「意」 馬を走らせて西へ西へと進むが行けども行けども果てしなく天に上るようである。家を出てからもう二度も満月を迎えた。さて今夜はどこに宿をとつたらよいか、何のあてもない。見渡すかぎり広くひろがった一面の砂漠は遠くまで続いて、人家の出す一すじの煙も全く見当たらない。

山内 正風